

第3回 河川・下水道事業調整協議会

【日時】

平成28年3月17日（木）午後2：30～3：30

【場所】

埼玉県庁第二庁舎 2階 都市整備部会議室

【出席者】

別紙のとおり

【要旨】

河川と下水道が連携して対策を行う取組（案）について

【結果】

（松原地区）

・松原排水機場について、条件・課題等をクリアした上で既設を含め、合計2.0m³/sまでの設置が可能。

【今後の対応】

（松原地区）

・松原排水機場増強による放流量、排水方法、工事実施時期等について県と協議を行い、事業を実施していく。

（谷塚、新里地区）

・当該地区の排水系統を調査し、排水系統の変更、樋管の改修、ポンプ増強等について県と協議を行う。

出席者

【埼玉県】

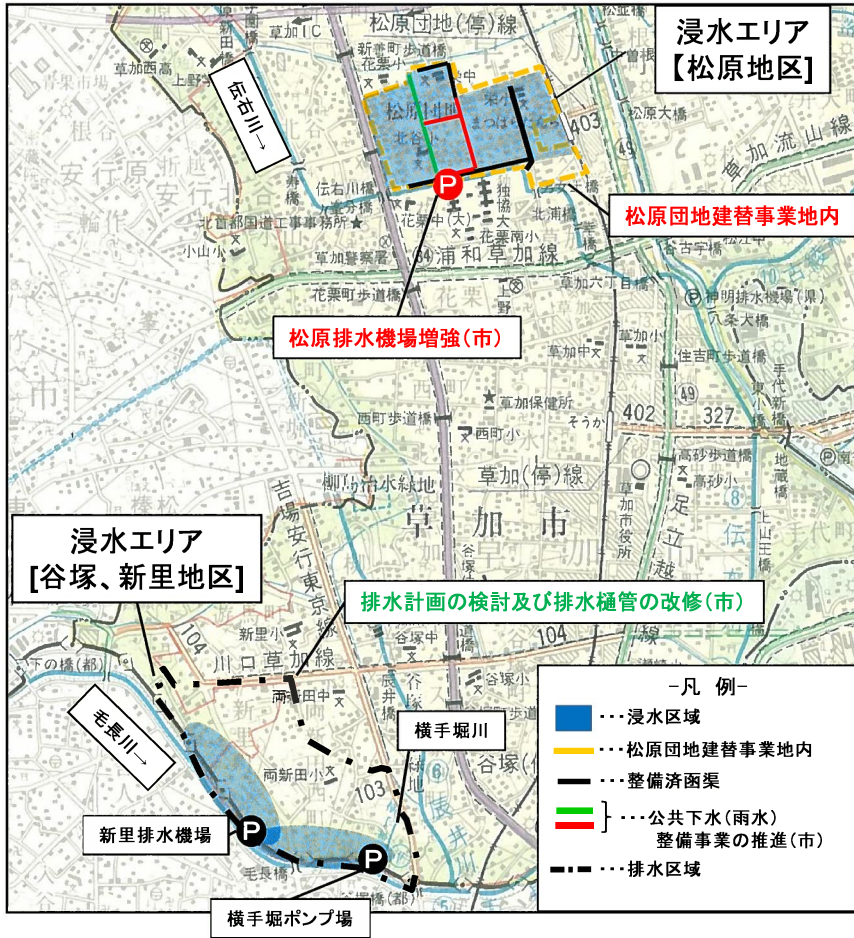
県土整備部 河川砂防課	課長	他 3 名
越谷県土整備事務所 河川部	担当課長	
都市整備部都市計画課	主幹	他 1 名

【草加市】

建設部	部長	
建設管理課	課長	
河川課	課長	他 4 名

河川と下水道が連携して対策を行う取組（草加市）

位置図



多発する浸水被害



伝右川整備状況



(赤): 事業中、またはすぐに事業着手可能な施策
(緑): 検討のうえ事業化を目指す施策

連携施策

〔松原地区〕

○現状・課題

- ・地盤の低い地域であるため、台風等により河川水位が上昇すると自然排水が難しい。
- ・昭和30年代に松原団地が建設され、当時の雨水管渠を利用した雨水排水整備の状況となっており、新たな雨水管渠整備が必要である。
- ・市管理の雨水排水施設である松原排水機場があり、暫定規模のポンプ設備となっている。



○施策

- ・放流量の見直し(県)
- ・松原排水機場のポンプ設備の増強(市)
- ・公共下水道(雨水)整備事業の推進(市)

〔谷塚、新里地区〕

○現状・課題

- ・地盤の低い地域であるため、台風等により河川水位が上昇すると自然排水が難しい。
- ・台風等の大雨により、下流域に位置する雨水排水機場へ急激に雨水が集中することで、排水能力が追い付かず、浸水被害が発生している。



○施策

- ・浸水エリアの現況水路調査(市)
- ・現況水路調査結果を踏まえた、効率的・効果的な毛長川への排水計画の検討(県、市)
- ・上記排水計画に基づく樋管等の改修(市)

※その他全域で内水ハザードマップの活用を推進